

1. 組織名

全国森林組合連合会

2. 提出意見①

該当する交渉分野

物品市場アクセス

意見

木材(丸太)は昭和30年代の完全輸入自由化に加え、プラザ合意や日米林産物MOSS協議などの輸入加速政策、その後の円高が追い打ちをかけ、戦後営々と育て上げてきた森林から生産された木材は市場価値が暴落し、その維持管理すら放棄せざるを得ない状況となっている。

これまでJForest森林組合160万組合員は、戦後疲弊した我が国の森林を再生し、林業及び山村地域の経済、雇用を協同の力で守りながら、林産物の供給、水源の保全、国土の安全、地球温暖化防止といった多面的機能を国民に提供してきた。

政府におかれては、TPP交渉参加が我が国の森林、林業、山村地域のこれ以上の崩壊の引き金を引くことにならぬよう、地球温暖化対策や木材自給率向上のための森林整備に不可欠な合板、製材の関税維持に最大限配慮し、守るべき国益を第一に、撤退を含む明確な方針をもって交渉に臨み、十分な情報を国民に提示されるよう強く求めるものである。

【参考】 TPP交渉における交渉分野

物品市場 アクセス	原産地規則	貿易円滑化	SPS(衛生植 物検疫)	TBT(貿易の 技術的障壁)	貿易救済	政府調達
知的財産	競争政策	越境サー ビス	商用関係者 の移動	金融サー ビス	電気通信 サービス	電子商取引
投資	環境	労働	制度的事項 (法律的事項)	紛争解決	協力	分野横断的 事項

※ 2つ以上意見を提出される場合は、「提出意見」の行をコピーの上、行を追加願います。